

COE・アシスタント 15 年度研究成果報告

都市環境工学専攻、交通システム計画学 春燕

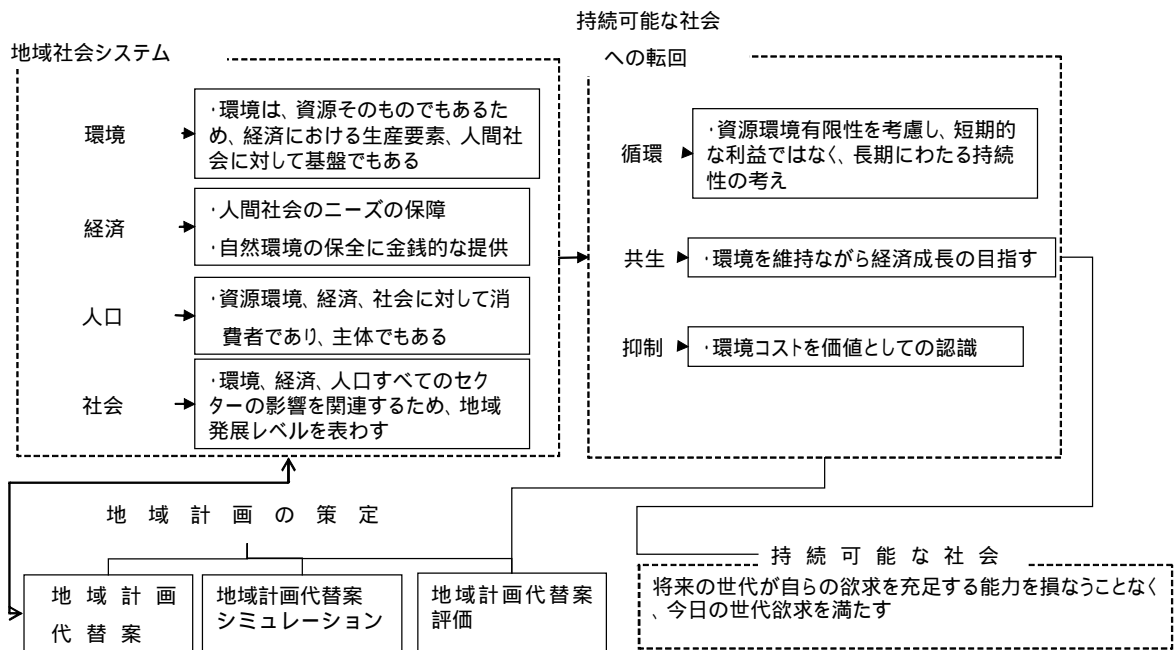
平成 15 年加賀屋先生の COE・アシスタントとして採用されて以来、以下の研究を行なった。

1、研究論文について

研究テーマ:内モンゴル自治区の持続可能な計画策定のためのシミュレーションモデルの開発

研究内容:地域の持続可能な発展は、単に経済と自然環境との関係だけでなく、社会、人口の問題を含めた総合的な視点が必要である。本研究は、こうした視点に立って特定地域における環境と経済を両立する社会システムモデル構成を行ない、今後予想される問題について、シミュレーションによって検討した。

具体的には、内モンゴル自治区を例として、経済と環境の調和を行なうための開発のあり方を分析した。ここで扱う地域計画モデルは、資源・環境、経済、人口、社会の4つのセクターを取り込み、相互セクター間の因果関係と動的変化を再現できるものである。ここで、今後想定されるいくつかの代替案を設定し、それらの可能性と妥当性を明らかにした。その結果、環境の均衡ある発展をもたらす代替案が可能となった。次の図にこの内容を表す。



2、COE 活動と学会の参加

豊橋科学大学での土木計画研究発表論文会の発表参加(11月26日から29日)

社会基盤グループ研究発表会の参加(12月26日)

21世紀COEプログラム拠点活動報告会(3月16日)

研究成果リスト

研究論文名	投稿学会
中国西部地域における地域振興を考した道路整備評価に関する研究	日本都市環境共生学会
内モンゴル自治区の持続可能な計画策定のためのシミュレーションモデルの開発	日本土木学会 「土木計画学研究・論文集」
中国西部地域における道路整備効果に関する考察	北海道都市学会 「都市学研究 41」